

## ＜令和3年度事業報告＞

### 1. 事業の概況

当年度は一般社団法人10期目にあたる。同窓会離れや高齢化、コロナ禍の影響もあり会員数減少が予想され、少額の黒字予算としました。会員数は減少したものの、コロナ禍による事業や行事の中止があり当初想定していた経費が発生しなかったことや経費削減に努めた結果予算以上の黒字を確保できました。

会員向け事業として各種課題を解決するため5つの委員会を立ち上げ検討を開始しましたがコロナ禍のため対面は難しくリモート中心となり十分とは言えない状況でした。現役世代向けでは、横のネットワークである年次別同期会に加え、縦のネットワークとして職域対策の企業別・社外役員・経理財務・人事などの懇談会を通じ、会員相互の交流、入会勧誘、会費納入促進を強化しました。

将来を見据えた会員の多様なニーズ把握、現役学生である準会員をはじめ、若年層、現役世代、OB層まで幅広い年齢層に対応した多彩な事業の検討を進めてまいりました。

準会員対策では、法・経済・経営の3学部生を対象に凌霜出身者が講師を務める「寄附講義（7年目）」を大幅に刷新し、受講生には大変好評でありました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けベルカンの共催の就活セミナーは実施できませんでした。入学時の新入生歓迎会（R3.4）は実施できず、卒業式（R4.3）は実施できましたが謝恩会は同様の理由により中止となりました。但し、年間を通じて母校愛や凌霜会に対する帰属意識醸成を図りました。

支部対策では、支部代表者会議を9月にWeb開催し（20支部の代表者が出席）、本部と支部の意見交換を図りました。さらに、東京・大阪両支部はコロナ禍の影響を大きく受け財政的に窮地に陥っており、凌霜会から支援を行いました。また地方支部の総会は全て中止となりました。

母校・神戸大学は「知と人を創る異分野共創研究グローバル拠点」を目指してしています。この実現には同窓会の協力が不可欠で、凌霜会は兄弟組織である公益財団法人神戸大学六甲台後援会と協働し、大学当局との連携、支援強化に努めています。

#### （1）収支状況（前年比較）

経常収益では、受取会費は正会員の会員数減、準会員累計会員の減少はあるが令和3年度から導入した入会金が5,110千円であったため会費計では3,229千円の増加でした。その他事業収益及び寄附等については224千円の増加となりました。その結果、経常収益全体では49,530千円となり前年（46,078千円）と比較して3,453千円の増収となりました。

一方、経常費用（労務費配賦後）は、事業費についてはコロナ禍のため各種事業が

実施出来なかったことに加え会報誌の発行について在学生向けにはWeb配信を7月から実施し、経費見直し等経費削減となりました。一方学生支援を強化した結果事業費計では43,515千円（前年41,264千円）となり2,250千円増加しました。管理費については経費の削減や退職職員の補充を行わなかったことにより1,958千円（前年2,156千円）となり198千円の減少となりました。費用全体では45,473千円（前年43,421千円）となり2,052千円増加しました。その結果、当期の経常増減額は4,057千円（前年2,657千円）となり1,401千円の増加となりました。正味財産期末残高は26,629千円（前年22,759千円）となり、3,870千円の増加となりました。

## （2）事業活動

### ①会員名簿の整備と維持管理

- ・会員データベースの管理では、住所変更や異動情報、会費支払いをインターネットで行うデジタル化を推進し、準会員、若手、現役世代の利用が伸びました。
- ・会費の納付方法については銀行口座自動引落としキャンペーンを実施した結果550名を超える方から申込を頂き、毎年支払い者のうち銀行口座自動引落としの構成比が23%から35%と大幅に増加しました。
- ・新入生対策では、六甲台部局の協力を得て合格通知に凌霜会入会申込書などを同封しました。しかし、新入生の入会者減少傾向に歯止めをかけるため、従来にない入会特典を各種入会チラシで周知し入会活動を積極的に展開しましたが新入準会員の入会は3月末時点では昨年度に比べても低調でありました。（大学院含む：入会者317名、入会率28%）R2年度：387名（35%）。6月以降、新2年生、新1年生の未入会者に再度の入会勧誘活動を実施予定。
- ・現役学生である準会員対策として、六甲台部局と協力して実施していた新任ゼミ幹事オリエンテーション、ベルカン（六甲台学生評議会）主催の七夕祭や六甲祭などはコロナ禍のため中止となりました。

### ②会員相互の連絡及び研修

- ・3月下旬の卒業式は開催されましたが謝恩会は新型コロナウイルス感染防止のため3年続きの中止となりました。卒業式では未入会者への勧誘資料の配布や凌霜会の魅力をまとめたものを新たに発信しました。
- ・大阪、大阪の各種行事はコロナ禍のため中止となりました。
- ・若手・現役世代対策として、新卒会員の激励会や平成卒業生を対象とした「若手の会」を東京、大阪のクラブと共催する予定でしたが、これもコロナ禍のため中止となりました。
- ・午餐会講演会  
通算1,500回を超える講演会（講師は大学の先生、凌霜OB）について今年度は8

回開催しましたが、3回はコロナ禍のため中止となりました。

- ・支部総会はコロナ禍のため全支部で中止となりました。
- ・午餐会講演会をはじめ各種講演会の内容を動画でWeb配信しました。

### ③会報及び電子会報の発行

- ・会誌「凌霜」を4月、7月、10月、1月の年4回発行。カラー面の充実、準会員や若手会員の活動や投稿の掲載など、幅広い年齢層の読者に対応しました。また、在学生向けにはWeb配信をするなどにより費用を削減できました。
- ・ホームページや準会員向け「凌霜ジュニア」、「凌霜アドバンス」及び正会員向け「凌霜ビジネス」メールマガジンの内容充実に加え、準会員・若手向けにツイッター等のSNSを多数発信し、凌霜OBや神戸大関連のニュースを提供しました。

### ④経済、経営、法律に関する調査研究及び奨励に関する助成

- ・神戸大、一橋大、大阪市立大の旧三商大の学生が実施している「三商ゼミ討論会」はコロナ禍のため今回も中止となりました。

### ⑤経済、経営、法律に関する知識を普及向上するための講習会、研究会の開催に対する助成をしました。

- ・寄附講義はハイブリッドの開催となりましたが、内容の充実及び進め方を大幅に刷新し、受講生からは大変好評でありました。3学部の1、2年生を対象に、第一線で活躍中の若手凌霜OBも加え、生きた法学、経済学、経営学に加え講師の経験に基づいたライフワーク、キャリア形成を教える凌霜会寄附講義「社会科学の実践」を7年連続で開講しました。
- ・マーケティング入門講座、地方就活企画等新たな企画を実施し、学生の共感を醸成しました。

### ⑥その他、法人の目的を達成するために必要な事業

- ・準会員の就職活動を支援するために、六甲台部局と共同して「六甲台就職相談センター」を支援し、フェイス・ツー・フェイスの就職相談と指導を実施しました。
- ・全学の同窓会の連合体である学友会活動の支援を通じ、神戸大学を支援しました。

## 2. 機関決定

### (1) 理事会

#### ①令和3年5月通常理事会開催

- 1)令和2年度事業報告及び決算書類承認の件、
- 2)委員会の再編・強化について、
- 3)総会招集の件、
- 4)役員の数数の件、
- 5)退任理事の後任について付議しました。

以上の議案に関して原案通り承認いただきました。

#### ②令和3年9月通常理事会開催（書面決議）

- 1)代議員選挙の選挙人及び被選挙人資格の決定、代議員定数決定の件、
- 2)選挙管理委員会委員の委嘱の件、
- 3)代議員候補者選考委員会委員の選任の件について付議し

ました。以上の議案に関して原案通り承認いただきました。

③令和4年3月通常理事会開催（対面、Web開催）

1)令和4年度事業計画及び予算の承認の件、2)凌霜会創立100周年記念事業実施の件、3)東京・大阪支部への支援の件について付議し、1)3)については原案通り承認頂きました。2)については実施内容の再検討を行うことになりました。

いずれも原案通り承認いただきました。

(2) 総会

①令和3年6月26日に第10回定時総会開催

1)令和2年度決算書類承認の件、2)退任理事後任の件について付議しました。結果1)、2)、については原案通り承認頂きました。